

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

人情味あふれる！笑いのたえないまち実現計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大阪府門真市

3 地域再生計画の区域

大阪府門真市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和30年代から40年代の高度経済成長期にかけて急激に増加し、140,000人を突破した。その後、平成2(1990)年以降は緩やかな減少傾向にあったが、平成27(2015)年国勢調査の結果では、平成22(2010)年時点から約6,700人減の125,612人と大幅な減少となり、令和2(2020)年1月時点の住民基本台帳では121,575人となっている。

本市の人口減少の特徴として、転出数が転入数を上回る社会減（平成30年度▲346人）が要因となっていたが、平成21(2009)年以降は、出生数と死亡数の逆転により、社会減に加え自然減（平成30年度▲630人）も要因となっている。

特に、0～9歳の子どもと20～44歳の親世代の転出が多く、結婚や出産、家の購入等のライフステージが想定される年代の転出超過が顕著に表れており、生産年齢人口割合の減少に伴う市税等の収入の減少や、社会保障費用等支出の増加、労働力や消費の縮小による地域経済の衰退が課題となっている。

こうした課題に対応するため、次の基本目標を掲げ、若い世代や子育て世代の定住を促進し、バランスのとれた年齢構成を実現していく。また、住み慣れた地域で、元気で楽しく、豊かに暮らせるよう、全ての市民の健康づくり、病気の予防対策、地域・社会全体で支え合う体制づくりや、地域の活力向上に向けた産業促進等を一層進めることで、社会減に歯止めをかけ、社会保障費用等支出の増加を抑制するとともに、地域経済を活性化する。

- ・基本目標 1 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現
- ・基本目標 2 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現
- ・基本目標 3 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現
- ・基本目標 4 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	20～30代の転出超過数	380人	△120人	基本目標 1
	保育所等の待機児童数	0人	0人	
	全国学力学習状況調査 の正答率（全国平均比 率）	小学校95% 中学校93%	小学校105% 中学校105%	
イ	前期高齢者の要支援・ 要介護認定率の割合	6.6%	4.5%	基本目標 2
	健康寿命の大阪府平均 との差	男△1.38歳 女△1.08歳	男 0歳 女 0歳	
ウ	地震時等に著しく危険 な密集市街地の面積	137ha	0ha	基本目標 3
	市民一人一日当たりの ごみ排出量	1,022g	870g	
	下水道による浸水対策 達成率	87.3%	94.0%	
	刑法犯罪認知件数 (年間)	1622件	700件	
エ	コミュニティバスの年 間利用者数	76,000人	231,000人	基本目標 4
	NPOやボランティア	20.5%	60%	

	に参加している人の割合			
	市内常住の市内従業者の割合	30.8%	31.0%	
	生涯学習活動をしたことがある人の割合	20.5%	60%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

人情味あふれる！笑いのたえないまち実現事業

ア 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現事業

イ 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現事業

ウ 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現事業

エ 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現事業

② 事業の内容

ア 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現事業

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して出産・子育てができる環境づくりや、少子化に伴う児童の減少による教育環境の変化に対応し、門真の将来を担う子どもたちが多様な経験を積み、個性や能力を開花させながら、コミュニケーション能力と、グローバルな視点を持って、たくましく育つ環境をつくる事業。

【具体的な取組】

- ・子どもの未来応援ネットワーク事業

- ・門真市めざせ世界へはばたけ事業 等

イ 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現事業

地域福祉を支える担い手の確保・育成や、交流や見守り活動、支援の場等、様々なネットワークの構築を推進し、地域の中で支え合える環境づくりや、市民の健康づくりや地域で活躍できる機会の充実を図り、子どもや若い世代、高齢者、障がい者等、みんなが健康で幸せに暮らせる環境をつくる事業。

【具体的な取組】

- ・高齢者の見守りネットワーク事業
- ・高齢者の健康づくり推進事業 等

ウ 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現事業

老朽化する公共施設等をはじめとするまちの基盤の再整備や密集市街地解消を推進し、充実した都市機能と良好で快適な住まいと環境づくり、また、増加する空き家に係る対策や防犯体制の強化、地震等の自然災害への危機管理体制の強化を図り、犯罪や災害に強い安全・安心な環境をつくる事業。

【具体的な取組】

- ・地震時等に著しく危険な密集市街地整備事業
- ・北部地区優先主要生活道路整備事業 等

エ 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現事業

産業の振興・雇用創出を図り、働く場が身近にありワークライフバランスを実現できる職住近接の環境づくりや、高齢化が進む中、市内の文化資源を生かしつつ文化芸術の振興・推進を図り、地域での学びの場や人が交流する場を創出し、人の温かさや利便性の高い交通網等本市の強みを最大限に活かすことで、まちの活力と賑わいを創出する事業。

【具体的な取組】

- ・コミュニティバス運行補助事業

※ なお、詳細は門真市第6次総合計画（本市における地方版総合戦略）のとおり。

- ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標KPI）
4の【数値目標】に同じ

- ④ 寄付の金額の目安
2,000,000千円（2020年度～2024年度累計）

- ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

事業の進捗状況や取組内容を踏まえ、毎年度6月頃に、門真市第6次総合計画（第2期門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含）に係る有識者への意見聴取等からKPIの達成度を検証する。また、新たな課題や状況変化等への対応に当たっては、有識者からの意見を参酌した事業改善を実践することで、目標達成に努める。

（外部組織の参画者）

門真市第6次総合計画に係る有識者

（検証結果の公表の方法）

検証後、速やかに本市ホームページにおいて結果を公表

- ⑥ 事業実施期間
2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで